

あの日の気持ちを 忘れない

動物の飼育は愛情と責任を持って



犬・猫の殺処分数は、10年前と比較すると、県で6割、鹿屋保健所管内で8割近く減少している。
しかし、減少したとはいえ鹿屋保健所管内においては、今でも1年間に約200匹が殺処分されている状況であり、決して少ない数字とは言えない。
飼い主の意識も徐々に変化してきているが、まだまだ、たくさんの犬・猫が殺処分されている。

しかし、その一方で、心ない飼い主によるペットの遺棄や虐待、また、適正な飼育を行わないことによる近隣のトラブルなど、多くの問題も発生しています。
今回の特集では、人と動物が快適に暮らせる社会を実現するため、動物愛護のあり方を市民の皆さんとともに考えていきます。

命を預かる責任

動物愛護の取り組みには、厳しい現実があります。平成26年度の県の統計によると、鹿屋保健所では、149匹の犬が保護され、飼い主から32匹が引き取られています。飼い主に返還された犬が48匹、譲渡が63匹、殺処分は75匹となっています。

市内から保健所に収容され、始良動物管理所で殺処分される犬・猫のほとんどは屋外で保護された犬・猫です。
しかし、ペットとして飼われていた犬・猫が、しつけができていないことを理由に持ち込まれたり、家庭で産まれた子犬や子猫が持ち込まれたりする「飼育放棄」も後を絶ちません。

本市においても犬・猫をはじめ、多種多様なペットが飼われている姿を見かけます。動物は、少子高齢化や核家族が進む中で、単なる愛玩の対象としてだけでなく、飼い主の心に潤いや癒しを与えてくれる家族の一員として迎え入れられ、大切に飼われています。

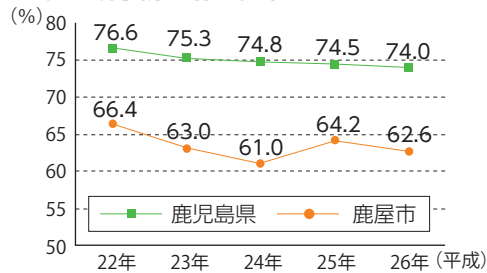
あなたの大切な愛犬や家族のために予防接種を 致死率100%の狂犬病！

国内では1957年以降発生がない狂犬病ですが、台湾では、2013年7月に52年ぶりの発生が確認されています。

狂犬病は、人に感染し発病するとほぼ100%で死亡し、世界では毎年5万人を超える死亡者が出ています。

このことから、国内では狂犬病予防法を定め、生後91日以上の飼い犬に対して、生涯一度の登録と年に1回の予防接種を義務づけています。しかし、残念

狂犬病予防注射実施率



市内の狂犬病の予防接種率は62.6%と県全体の74%と比較して低い水準です。

ながら本市における予防接種の実施率は年々低下しています。狂犬病から、尊い人の命を守るためにも、犬の飼い主の皆さんは年1回の予防接種をお願いします。

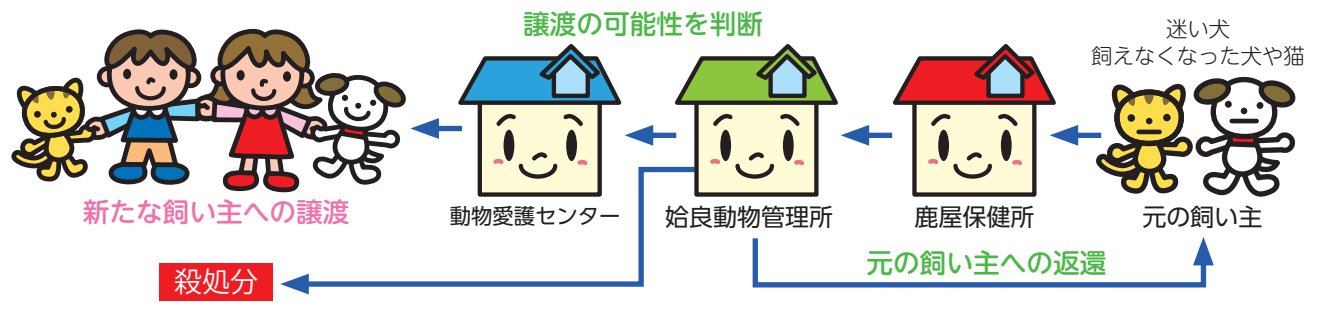
超高齢化社会の進展とともに、飼い主が亡くなったり、高齢で世話ができなくなったり、まったりという理由も増えてきています。人の都合で多くの動物が処分されている。これが現実なのです。

決して安易な気持ちで飼わないで

「保健所に引き取りの依頼をする前に、まず、新たな飼い主を探す努力を自ら行ってください。」そう話してくれたのは、鹿屋保健所の技術専門員である小出さん。「平成25年9月に改

正された動物愛護法では、動物の命を終えるまで適正に飼育する『終生飼養』が明記され、繰り返し返しの引き取りや、ペットの老齢や病気を理由とした終生飼養に反する引き取りを拒否できるようにになりました。
人の命が大切であるように、動物の命も大切であり、その尊厳を守ることは動物愛護の基本です。
これまで、その理念のもとで取り組みを進めてきましたが、これからも人と動物が共存できる地域づくりのために、地域の皆さんと協力していきたいと思っています。」

保護されてからの流れ



始良動物管理所のおりの中で、行き先が決まるのを待つ犬たち

動物管理所

県内に3か所ある動物管理所の一つである始良動物管理所では、原則週1回、殺処分が行われている。

一定期間収容され、飼い主が見つからず、譲渡もできないと判断された犬は、最終的に専用の部屋に移され、二酸化炭素を約8分間流入して殺

処分される。その後、麻酔剤で殺処分された猫とともに、隣接する焼却炉で焼却処分される。

動物たちの魂を少しでも慰めようと、敷地内には犬魂碑が建てられている。



愛犬ベコちゃん遊ぶ砂田さんファミリー(笠之原町)

「最期のときまで、大切な家族！」

「インターネットで譲渡会があることを知り、最初からペットショップで買うのではなく、譲渡会で引き取る犬を探していました」と話す砂田洋介さん(34)は、今年5月、知人の獣医師から「近所に親子の迷い犬がいて、母親が亡くなった。子犬の里親になってくれる人を探している」との話を聞いて、家族で話し合い、里親になることを決められたそうです。

今回、砂田家で犬を飼うことに最も積極的であった長女の知晴さん(笠野原小2年)は、「大切な家族です。ベコは、死ぬまで面倒見ます」とキッパリ、嬉しそうに話してくれました。